

早稲田大学 履修証明プログラム

データサイエンス 実践講座

———— Data Science Certificate Program, WASEDA University

早稲田大学の13の学部、17の研究科、4つの専門職大学院という幅広い学問領域の学生が学ぶデータサイエンス教育プログラム。表面的なスキルではなく、早稲田大学独自のカリキュラムを通じて、体系的なデータサイエンスの理論と実践について学ぶことができる特別なプログラムです。

2026年4月11日(土) — 2026年8月22日(土)
全108時間、土曜日(隔週実施)

Data Science Certificate Program



講座の特徴

履修証明プログラム (Certificate Program)

本講座の修了が認められると、早稲田大学から履修証明書が発行されます。
これは、学校教育法第105条の規定に基づくものであり、履歴書の学歴欄に記載可能です。

産学共同によるプログラム開発

本講座では、「実践編」の一部を株式会社アイデミー様にご担当いただくことで、産学共同体制で実施します。
学術界と実務界の力を結集した総合的な学びを提供します。

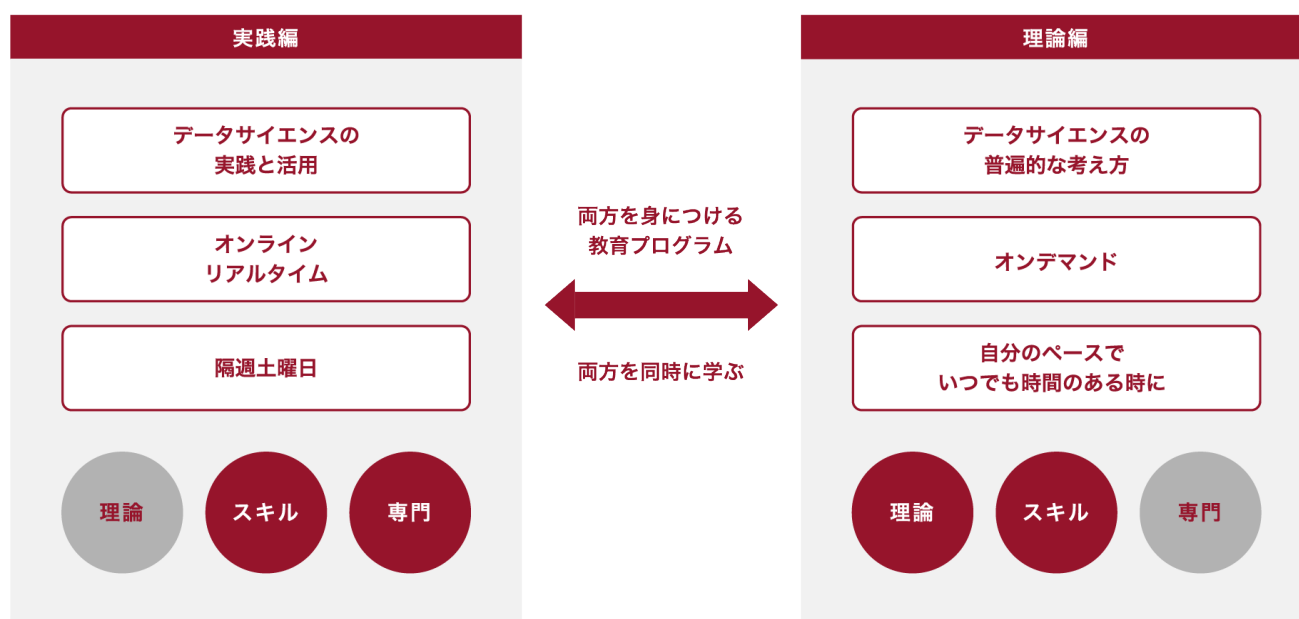
「データ科学認定制度」に準拠したプログラム

本講座は、早稲田大学独自のデータ科学教育プログラムの一環として設置している「データ科学認定制度」に準拠した内容となっており、本講座を修了すると認定制度の初級レベルの「知識」と「スキル」を獲得することができます。

データサイエンスの「理論」と「実践」を学ぶプログラム

「実践編」では、実際にデータに触って分析を体験しながらデータサイエンスの活用方法について学びます。
「理論編」では、データ科学センターが開発するオンデマンド講義にて、深い理論を学びます。

社会人データサイエンス教育プログラム



オンライン形式とオンデマンド形式の融合

実践編を隔週土曜日にオンライン形式で手を動かしながら学び、同時にその普遍的な考え方をオンデマンド形式の理論編(48時間)にて自己学習します。実践編では講師が理論編のフォロー(理論編ダイジェスト)も行います。忙しい社会人の方々にも受講しやすい形態です。

実践編の説明

理論は最小限にとどめて、具体的な問題とデータを使ってデータサイエンスを実践します。データ分析を Python で演習を通して理解し、課題に取り組むことによって自身の力にします。
プログラミングでは生成 AI の活用も可能です。
実データを使った分析の実践、並びにビジネスへの活用領域や活用事例を学び、データサイエンスとビジネスの知識を結びつける能力を養います。

実践編の進め方

パターン 1

分析の問題設定と
分析方法の説明

Python
による演習

Python
による課題実習

パターン 2 : 課題解決型学習

課題の提示

課題解決の
実践

考察

フィードバック

理論編の説明

データサイエンスにおける普遍的な考え方を基礎からオンデマンドで学びます。
統計学や機械学習を分けて説明することをせず、ノウハウではないデータサイエンスを体系的に学びます。
また Python によるプログラミングを基礎から学び、理論を自らの手で Python で体験することにより、データサイエンスに対する深い理解を助けます。
理論編はオンデマンドですので、時間や場所を問わず学ぶことができ、時間をかけて自身のペースで学ぶことができます。
質問はオンデマンド機能を用いて受講者ごとに好きなタイミングで行うことができます。

理論編の進め方

第 1 回

モジュール1(理論)

動画

理解度テスト

モジュール2(理論)

動画

理解度テスト

モジュール3(Python)

動画

理解度テスト

第 2 回

掲示板への質問

職業実践力育成プログラム (BP)

本プログラムは、文部科学省より「職業実践力育成プログラム」(BP: Brush up Program for professional) に認定されています。(2022年12月より新規指定)

職業育成力育成プログラム (BP) 認定制度について (文部科学省)

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/index.htm

(様式1)「職業実践力育成プログラム」(BP) への申請について

https://wasedaneo.jp/wp-content/themes/waseda_neo/images/datascience/datascience_BP1.pdf

(様式2)授業科目の概要について

https://wasedaneo.jp/wp-content/themes/waseda_neo/images/datascience/datascience_BP2.pdf

講座の特徴

教育訓練給付制度

本プログラムは、厚生労働省の教育訓練給付制度（特定一般教育訓練）の指定講座となりました（2023年10月より新規指定）。本講座を修了した場合、受講者本人が支払った教育訓練経費の最大50%に相当する額が給付されます。

給付を希望される方は、「訓練前キャリアコンサルティング」を受け、ジョブカードの交付してもらった上で、講座開始日の2週間前までに自宅住所を管轄するハローワークに申請する必要があります。

[ご参考] 厚生労働省HP

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html

「データサイエンス実践講座」2026年度春期スケジュール

※オンライン形式実施部分 (60時間) のみ記載。オンデマンドでの学習 (理論編1:48時間) を並行して実施。

回	日程	モジュール	時間	科目名	担当講師	理論編1 (必修)	理論編2 (選択)		
第1回	4/11(土)	1-0	9:00-9:30	ガイダンス	小林 学	データサイエンスの考え方の基礎 ・データ科学の重要性 ・データ科学の問題設定と考え方 ・データの特徴記述 ・確率分布 ・パラメータ推定 ・仮説検定 ・データ利用における注意事項 ・データ倫理	理論編Pythonによるデータ解析 ・Python利用をされたことがない方のための講義		
		1-1	9:30-10:30	ビジネスにおけるデータサイエンス	坂本 圭司				
		1-2	10:45-12:15	企業における実践事例とキャリア開発	桑田 修平				
		1-3	13:15-14:45	Pythonの導入	坂本 圭司				
		1-4	15:00-16:30	プログラミングの作法	坂本 圭司				
第2回	4/25(土)	2-1	9:00-10:30	データサイエンスの工程とデータ収集	坂本 圭司				
		2-2	10:45-12:15	データ整形	坂本 圭司				
		2-3	13:15-14:45	基本統計量	小林 学				
		2-4	15:00-16:30	統計的推測	小林 学				
第3回	5/9(土)	3-1	9:00-10:30	単回帰分析	野村 亮				
		3-2	10:45-12:15	重回帰分析	野村 亮				
		3-3	13:15-14:45	データサイエンスの考え方1	須子 統太				
		3-4	15:00-16:30	データサイエンス実習1	須子 統太				
第4回	5/23(土)	4-1	9:00-10:30	重回帰モデルのモデル選択1	堀井 俊佑			回帰と分類の考え方 ・回帰と分類の問題設定 ・回帰と分類の数理モデル ・パラメータ推定 ・予測問題 ・重回帰分析 ・線形判別分析 ・ロジスティック回帰 ・ディープラーニング	
		4-2	10:45-12:15	重回帰モデルのモデル選択2	堀井 俊佑				
		4-3	13:15-14:45	正則化	望月 泰博				
		4-4	15:00-16:30	交互作用のある場合の重回帰分析	望月 泰博				
第5回	6/6(土)	5-1	9:00-10:30	線形判別分析1	小林 学				
		5-2	10:45-12:15	線形判別分析2	小林 学				
		5-3	13:15-14:45	データサイエンスの考え方2	堀井 俊佑				
		5-4	15:00-16:30	データサイエンス実習2	堀井 俊佑				
第6回	6/20(土)	6-1	9:00-10:30	非線形なモデルの回帰分類1 (kNN)	寅屋敷 哲也			分析に適切なモデルの探索 ・様々な基底関数 ・変数選択/モデル選択の問題 ・構造の推定と予測のためのモデル選択 ・正則化 ・ノンパラメトリック回帰	
		6-2	10:45-12:15	非線形なモデルの回帰分類2 (カーネル法)	寅屋敷 哲也				
		6-3	13:15-14:45	非線形なモデルの回帰分類3 (決定木)	中原 悠太				
		6-4	15:00-16:30	非線形なモデルの回帰分類4 (集団学習)	中原 悠太				
第7回	7/4(土)	7-1	9:00-10:30	非線形なモデルの回帰分類5 (ニューラルネットワーク)	谷口 卓也				
		7-2	10:45-12:15	非線形なモデルの回帰分類6 (ディープラーニング)	谷口 卓也				
		7-3	13:15-14:45	データサイエンスの考え方3	小林 学				
		7-4	15:00-16:30	データサイエンス実習3	小林 学				
第8回	7/18(土)	8-1	9:00-10:30	自然言語処理1	坂本 圭司	データ解析の実践 ・クラスタリング ・データの縮約 ・データ解析の一連のプロセス ・前処理 ・モデルの妥当性の検証 ・データサイエンスの応用	理論編データ科学のための数学 ・数学の基礎を学びたい方のための講義		
		8-2	10:45-12:15	自然言語処理2	坂本 圭司				
		8-3	13:15-14:45	画像分類1	坂本 圭司				
		8-4	15:00-16:30	画像分類2	坂本 圭司				
第9回	8/1(土)	9-1	9:00-10:30	学習済みAIモデルの活用1	小林 学				
		9-2	10:45-12:15	学習済みAIモデルの活用2	小林 学				
		9-3	13:15-14:45	PBL実習	小林 学 須子 統太				
		9-4	13:15-14:45	PBL実習	小林 学 須子 統太				
第10回	8/22(土)	10-1	9:00-10:30	PBL実習	小林 学 須子 統太				
		10-2	10:45-12:15	PBL実習	小林 学 須子 統太				
		10-3	13:15-14:45	データサイエンスの考え方4	野村 亮				
		10-4	15:00-16:30	まとめ	野村 亮				
補講				補講日 (7/25(土) 予定) ※休講の回が出た場合に補講を実施					
	9/15(火)			プログラム修了日(履修証明書発行日) ※授業はありません					

オンライン形式		
実践編(Pythonによる演習含)	内容の例	時間
Pythonプログラミング基礎	Pythonのインストール、プログラミングの作法、構文	3h
データサイエンス基礎	データサイエンスの役割、データの取得、基本統計量、データの視覚化、基本的な確率分布	7.5h
線形モデルによる回帰・分類	重回帰分析、線形判別分析、ロジスティック回帰	7.5h
モデル設定の考え方	評価基準、モデル選択、正則化、交互作用	7.5h
非線形モデルによる回帰・分類	カーネル法、集団学習、ニューラルネットワーク、ディープラーニング	9h
自然言語・画像	自然言語の機械学習、画像の機械学習	6h
データ分析の実践	分析目的の設定、モデルの構築、実データ分析、PBL	15h
ビジネスへの活用	ビジネスにおけるデータサイエンス活用領域、活用事例	4.5h
合計時間		60h

オンデマンド形式		
理論編(Pythonによる演習含)	内容の例	時間
データサイエンスの考え方の基礎	データ科学の重要性、データ科学の問題設定と考え方、データの特徴記述、確率分布、パラメータ推定、統計的推測、データ利用における注意事項、データ倫理	12h
回帰と分類の考え方	回帰と分類の問題設定、回帰と分類の数値モデル、パラメータ推定、予測問題、重回帰分析、線形判別分析、ロジスティック回帰、ディープラーニング	12h
分析に適切なモデルの探索	様々な基底関数、変数選択・モデル選択の問題、構造の推定と予測のためのモデル選択、正則化、ノンパラメトリック回帰	12h
データ解析の実践	クラスタリング、データの縮約、データ解析の一連のプロセス、前処理、モデルの妥当性の検証、データサイエンスの応用	12h
合計時間		48h

講師陣



須子 統太 Tota Suko
早稲田大学 社会科学総合学院 准教授



小林 学 Manabu Kobayashi
早稲田大学 データ科学センター 教授



野村 亮 Ryo Nomura
早稲田大学 データ科学センター 教授



堀井 俊佑 Shunsuke Horii
早稲田大学 データ科学センター 准教授



谷口 卓也 Takuya Taniguchi
早稲田大学 データ科学センター 准教授



中原 悠太 Yuta Nakahara
早稲田大学 データ科学センター 講師



望月 泰博 Yasuhiro Mochizuki
早稲田大学 データ科学センター 講師



寅屋敷 哲也 Tetsuya Torayashiki
早稲田大学 データ科学センター 講師



坂本 圭司 Keiji Sakamoto
株式会社アイデミー 法人事業本部
ヒューマンキャピタルコンサルティング部



桑田 修平 Shuhei Kuwata
三井住友海上火災保険株式会社 ビジネスイノベーション
部 データサイエンスチーム 課長(データサイエンティスト)
博士(工学)

募集概要

募集人員	35名
募集期間	2026年3月3日(火) 13:00 ~ 3月30日(月) 23:59まで ※定員に達し次第、締め切ります。
申込方法	下記の「お申込ページ」よりお申込みください。 https://wasedaneo.jp/service/certificate-programs/datascience/ ※お申込みの際、WASEDA NEOのメンバー登録が必要となります。 ※請求書払い(法人様用)によるお申込みをご希望の場合、法人用請求書払いによるお申込みフォームよりお申込ください。
出願要件	企業や団体等において、データサイエンスを活用した分析業務を行えるようになりたいと考えている方。これまで統計・データサイエンスを学んだが、企業や団体等の業務において活用する方法を学習したい方。 ※社会人を対象としていますが、大学入学資格を有する方であれば申込み可能です。
想定する受講者	<ul style="list-style-type: none">・初めてデータサイエンスを学び、基本的なデータの分析を自身で行いたい方(データサイエンスの経験、現時点でのデータサイエンスの知識の多寡は問いません)・データサイエンスに関する知識やスキルを基礎から学びたい方・自身に関連するお仕事(ビジネスや業務)にデータサイエンスを活用したい方・これからデータサイエンティストを目指したい方
受講料	440,000円(税込) ※お申込み時に決済が必要となります。支払い方法は「一括払い」に限らせていただきます。
実施期間	2026年4月11日~2026年8月22日
実施方法	理論編(48時間):オンデマンド形式 理論編ダイジェスト・実践編(60時間):オンライン形式
履修証明書の交付	本プログラムを修了された方には、学校教育法に基づく履修証明制度により、「履修証明書」を授与いたします。本証明書は、学校教育法に基づく育成プログラムとして位置付けられており、修了者はご自身の履歴書の学歴欄などに学習歴を記載することができます。 参考:大学等の履修証明制度について(文部科学省ウェブサイト) https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/ ※履修証明書の交付は、受講期間中の出席状況、課題提出状況などを考慮し、総合的に判断します。欠席回数が本学所定の回数(全講座の3分の1)を超えた場合には、履修証明書の交付はできません。
その他	<ul style="list-style-type: none">・受講にあたり、ノートPCが必要になります。推奨スペックは以下のとおりです。CPU:Core i5以上メモリ:8GB以上SSD or HDD:10GB以上の空き容量OS:Windows or Mac 64ビットOS・もし最少催行人数に満たなかった場合には、催行を中止する場合がございます。

お問い合わせ

早稲田大学WASEDA NEO事務局

103-0027 東京都中央区日本橋1-4-1

日本橋一丁目三井ビルディング5階(COREDO日本橋)

TEL 03-6262-7534 MAIL info-neo@list.waseda.jp

事務取扱時間 9:00-17:00 (土日・祝日、年末年始、別途定める休業日を除く)

WEB <https://wasedaneo.jp/service/certificate-programs/datascience/>

